



西村 博樹さん

日本郵便株式会社勤務
(大阪府)

- 2007年11月「金融資産運用設計」合格
- 2010年11月「リスクと保険」合格
- 2011年11月「ライフプランニング・リタイアメントプランニング」合格
- 2014年 6月「不動産運用設計」合格
- 2015年11月「相続・事業承継設計」合格
- 2017年11月「タックスプランニング」合格
- 2018年 6月 CFP® 資格認定

数々の失敗・軌道修正を経て
 12年かけて全課目合格

My SUCCESS POINT

すき間時間を使い
15分刻みで問題を解く

郵便局での投資信託販売のために

2005年に日本郵政公社(現・日本郵便)で投資信託が販売されることになり、主な郵便局で投資信託の販売を専門に行う「投資信託アドバイザー」の1人として、私も2006年に配属されました。投資信託アドバイザーになったからには、いろいろな資格をブラッシュアップする必要があると思い、まず証券外務員資格を「内部管理責任者」まで取得することにしました。幸いにもすんなり合格することができ、勢いに乗ってCFP®資格に挑むことにしました。1997年にAFP資格を取得して以来の挑戦です。

ところが結果から言うと、CFP®認定までに12年もの歳月を費やしました。加えて1回で合格できたのは「ライフプランニング・リタイアメントプランニング」のみ。苦手な「不動産運用設計」に至っては5回も受験することになりました。合格した今だから言えますが、受験をあきらめようと何度も考えたものです。

振り返ると、当初の勉強方法にかなり無理がありました。勉強時間を平日2時間、土日各6時間と設定していましたが、思うようにはかどりません。「やらなければならない」という気持ちが強いのか、集中力が1時間持たず、テキストを読んでも内容が頭に入ってこないのです。できれば「投信アドバイザー」職のうちにCFP®試験に全課目合格したかったのですが、それも叶わず、「金融資産運用設計」「リスクと保険」のわずか2課目合格のみ。「資産運用営業インストラクター」職のときに合格できたのは「ライフプランニング・リタイアメントプランニング」「不動産運用設計」の2課目のみでした。

そこで勉強方法を見直しました。まず、従来の勉強方法である“縦の時間”(平日最低2時間、土日6時間・トータル100時間・受験1カ月前から勉強開始)重視から、“横の時間”(1週間で10時間・トータルで100時間・2カ月前から勉強開始)

インターネット出願は
5月8日(水)まで!

2019年度 第1回CFP®資格審査試験

6月 9日(日)
6月16日(日)

詳細は協会ホームページ
(<https://www.jafp.or.jp/>)
をご覧ください

強開始) 重視に変更。毎日の負担を減らしながら、とにかく継続を優先することにしました。勉強そのものも机に向かって「さあやるぞ」ではなく、通勤時間や子どもの習いごとの待ち時間など、すき間時間を活用し、15分刻みで過去問題を解いていくことにしたのです。過去問題は3回分を繰り返し解きました。そうすることによって、「やらなければいけない」から「やれたらラッキー」に気持ちが切り替わりました。気持ちが前向きになったことで、結果的に楽しくゴールのテープを切ることができました。こうしてようやくCFP®認定者の肩書を手にしたときには、「資産運用営業指導推進役」と、さらに役職が変わっていました。

悪戦苦闘の連続でしたが、私のCFP®試験奮闘記は研修や講演の際によくネタにしています。試験日を間違えて閑散としている会場の大学に行って家族の失笑を買ったこと、準備していた筆記用具をすべて忘れ、慌ててコンビニで購入したこと、受験票を忘れて試験ぎりぎりに再発行手続きをして挑んだこと。3人の子どもの子育てとも重なり、長い長い戦いの中にはいろいろなことがありました。

ですが私にとって、CFP®資格の取得はあくまでもスタートです。これまで必死に学んだことを、今度は多くの社員の皆さんに伝えることが私の使命だと感じています。これからも研修を通じて多くの人にファイナンシャル・プランニングの重要性を広げていきたいと思っています。

体験談登壇者募集!!

CFP®試験の合格体験エピソード、勉強法などをお寄せください。①会員番号(必須) ②氏名 ③昼間の電話ご連絡先 ④ご自身の体験(形式は自由)を明記のうえ、Eメールにてご応募ください。採用の方には、編集出版課よりあらためてご連絡いたします(追加取材をさせていただく場合がございます)。なお、採否のお問い合わせにはお答えしかねます。悪しからずご了承ください。

体験談送付先 → journal@jafp.or.jp
件名は「合格体験談」係